

- 令和4年12月23日、九州農政局宮崎県拠点が宮崎大学生(3年生21名)を対象に「みどりの食料システム戦略」を説明。
- 環境負荷低減の取組を自分ごとに捉えてもらうため、環境負荷低減農産物を販売する業者(仮想の人物)になりきり、消費者にどのように販売(PR)していくのかを考える機会を提供。
- 講義後、学生からアンケートを聴取。

【アンケートで出された主な意見】

- みどり戦略に関わるピーマンのブランド化等の様々な取組が身近にあることに驚き、もっとPRすべき。
- 排泄物や食品残さを有効利用することは、持続可能な社会にするには、大切なことだと実感。
- もっと消費者や若い世代にみどり戦略の周知が重要で、SNSを利用した情報発信など、世代に合わせた手法によるPRが必要。
- 若者が就農しやすい制度を構築すべき。
- 相手の立場を自分ごとと捉えるという事が出来て、大変良かった。

等

